



セーフコミュニティ通信 第49号

2026(令和8)年9月発行

セーフコミュニティ郡山

2018.2.2 国際認証取得
2023.2.4 国際認証再取得



セーフコミュニティ推進事業所の活動を紹介します



現在セーフコミュニティ推進事業所として **68** の事業所が登録し、安全・安心なまち「セーフコミュニティこおりやま」の活動を推進しています。

今回はその中から、令和6年10月より推進事業所として登録していただいている

ダイリ建設株式会社

さんに活動の内容をお聞きしました！

現場で安全に働くために

健康な体で働くために

危険予知活動表の活用

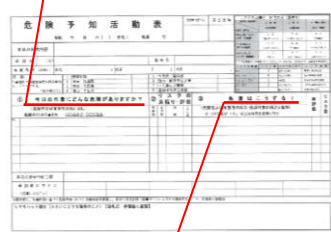
熱中症対策

ストレッチ体操

健康講話

危険予知活動表を用いて、その日行う作業にどのような危険が潜んでいるかを確認し合い、事故が起こらないよう注意しています。

今日の作業にどんな危険がありますか？



私達はこうする！

水分・塩分補給の促進を図ることはもちろん、熱中症予防チェックシートを活用や全社員への深部体温計の配布を行っています。

▼深部体温計



▲熱中症予防チェックシート

工事現場で危険される転倒を予防するストレッチや社員の体の悩みに合わせたストレッチを行っています。



社員の健康診断の結果を基に講師の保健師の方と相談し、毎年テーマを変えて実施しています。



その他にも体力測定などの社員の健康に関する様々な取組を行っており、毎年数値を記録することで自分の健康の変化について可視化できるように工夫されています！



地域とのつながり

地域の方々に工事現場を見学していただく機会を作り、実際に現場で使用しているものに触れてもらい、土木の現場を体験していただきました。



歩道橋工事の竣工時には地域の小学生を招待して、一番最初に渡ってもらうイベントを開催しました。



グループ会社である株式会社あいの里と合同で献血を行ったり、あいの里の介護施設で開催される敬老会へ参加したりしています。



今回お話を伺ったのは...

ダイリ建設株式会社さんが伝えたい思い

建設業に興味のある中学生や高校生の会社見学の受け入れや地域の方々を対象とした工事現場見学会など、地域の方々に私たちの仕事について理解を深めていただく機会を積極的に作っていかねばと考えています。

これからも地域とのつながりを大切に、安全・安心なまちづくりに貢献していきたいと思っています。



総務部 大内係長

～取材協力ありがとうございました～

登録いただいた事業所は、市ウェブサイトやセーフコミュニティ通信などに掲載し、事業所の安全・安心活動をPRします！

参加登録事業所の一覧やこれまでの取組報告については、市ウェブサイトからご覧いただけます。

セーフコミュニティ 推進事業所

検索



あなたは対策できていますか？
データから見る！高齢者の転倒事故 **= 予防救急 =**

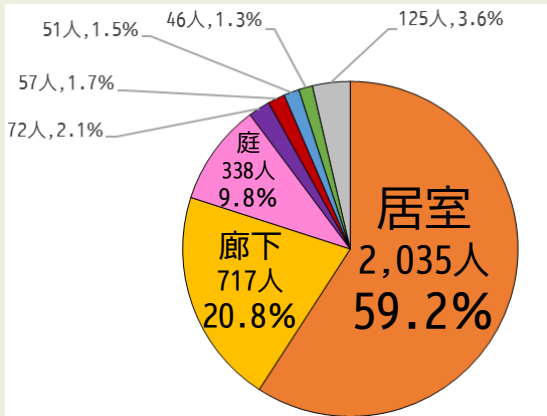
郡山地方広域消防組合は
けがなどを予防する
『予防救急』に
取り組んでいます。

高齢者は加齢にともなうバランス能力の低下、瞬発力や柔軟性の低下により転倒しやすくなります。また、認知症や脳血管疾患、薬の影響も転倒のリスクを高めます。高齢者の住宅内における転倒事故の傾向を知り、事前に対策することで転倒事故を予防しましょう！

情報提供：郡山地方広域消防組合

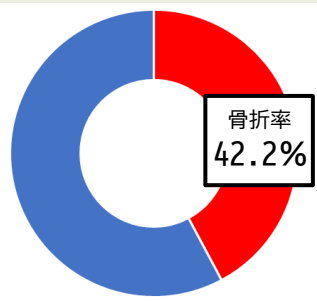
高齢者の転倒事故はどこで発生しやすいの？

右の円グラフは高齢者（65歳以上）が住宅内で転倒し、救急搬送された際の発生場所別割合を表したものです。
最も転倒が多い場所は、居室（居間、応接室、寝室など）で全体の約6割を占めています。居間や寝室などは生活の中で多くの時間を過ごす場所であるからこその転倒の可能性が高いと考えられます。
住宅内に転倒の要因になるものがないか場所ごとにチェックしましょう！



【郡山地方広域消防組合管内】住宅内における高齢者の転倒事故発生場所別救急搬送人員割合（2021年～2025年）

- 居室（居間、応接室、寝室など）
- 浴室（シャワー室、洗面所を含む）
- 廊下（玄関などの通路を含む）
- 階段（踊場を含む）
- 庭（テラスなどを含む）
- トイレ
- 台所（食堂を含む）
- その他（屋根、物置、地下室、車庫など）



【郡山地方広域消防組合管内】住宅内における高齢者の転倒事故救急搬送人員の骨折率（2021年～2025年）

高齢者の転倒事故では 約5人に2人が骨折している！

骨折率が特に高い場所

居室	45.3%
台所	44.4%
トイレ	41.3%

転倒による骨折、特に太ももの付け根にある頸部の骨折（大腿骨頸部骨折）は寝たきりや要介護状態につながる人が多いよ。
そうならないためにも早めの対策が必要だね！



転倒予防のポイント

手すりをつける

人が通る場所にコードがないように配線を整理する

室内を明るくする

バランスの取れた食事をする

かかとがある滑りにくい履物や杖を使用する

マットを敷く場合は滑り止めつきのものにする

床に物を置かない

適度に運動する

～市内142カ所で実施中～
(2026年3月末時点)
いきいき百歳体操で筋力アップ！

立ち座りが楽になった。
つまずかなくなった。
孫を抱いても疲れなくなった。

いきいき百歳体操についてはこちら